

■ 市長から市民のみなさんへ

山陽小野田市長
白井 信文



■ 文化・スポーツによるまちづくり

文化・スポーツ振興部長から、次のようなレポートが届きました。

「市では、本年4月、文化・スポーツによるまちづくりを推進する専門部署として、『文化・スポーツ振興部』を設置し、本市挙げての文化・スポーツの振興に本格的に取り組むことになりました。

ストレス社会と言われる今日、文化・スポーツの持つ重要性は、ますます高くかつ必要になっています。文化・スポーツによるまちづくりを推進し、市民の交流を一層促進するとともに、郷土愛の醸成や交流人口の増加など、『元気なまち山陽小野田』のまちづくりにさらに努めてまいります。

- 子どもたちには、学校への出前コンサート、不二輸送機ホール(文化会館)での伝統芸能の鑑賞、トップスポーツ選手たちの講演会などを開催し、文化・スポーツに接する機会を増やします。
- 『わがまち文化・スポーツ』の振興は、市民のみなさんや関係団体と連携し、地域の伝統文化・伝統芸能の支援・継承が必要です。『総合型地域スポーツクラブ』の支援・拡大にも取り組みます。
- 不二輸送機ホール(文化会館)の大ホールは、音響効果に優れていると専門家に評判です。この会場を活用した各種コンサートやイベントの開催も、たくさんの企画をしてみたいと思います。

● また、昨年に引き続き、今年も6月14日から18日まで、山陽オートレース場でパラサイクリング(障害者自転車競技)の合宿が行われます。今回はリオ・パラリンピックの直前合宿です。パラサイクリングの支援とともに、東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致にもチャレンジしたいと思っています。

● 本市は、レノファ山口(県内プロサッカーチーム)のホームタウンの一つであり、プロスポーツを活用したまちづくりは、市民の一体感の醸成など、有力なまちづくりの推進力となります。

その他、公民館などでは、文化・スポーツに関する教室がたくさん開かれています。みなさんも、ぜひ、文化・スポーツの何かを始めてみませんか。

『2020年東京オリンピック・パラリンピック』など、日本・世界の文化・スポーツの分野でおおいに活躍する市民が、一人でも多く現れることを願っています。夢は膨らみます。」



レノファ山口の選手とミニゲームで交流する小学生たち